

# 会 議 録

名 称	目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会（第1回）
日 時	平成27年12月18日（金）午後6時30分～午後8時30分
会 場	目黒区総合庁舎 大会議室
出席者	委員）中井委員（座長）、中野委員（副座長）、 瀬地山委員、市川委員、市塚委員、佐藤委員、團村委員、 青木委員、小池委員、金井委員、後藤委員、鈴木委員、橋本委員、 牧野委員、米本委員、 合計 15名 欠席者 岩井委員、金子委員、小林委員 区側）目黒区長、企画経営部長、政策企画課長、事務局
傍聴者	○有（ 6名） ・ 無
配布資料	資料1 目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会設置要領 資料2 目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会委員名簿 資料3 懇話会の運営について 資料4 目黒区人口ビジョン素案 資料5 目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案 資料6 地方創生における 結婚・出産・子育てに関する意識調査 実施結果
会議次第	1 開会 2 区長あいさつ 3 委員・区側出席者紹介 4 座長、副座長指名 5 議題 （1）懇話会の運営について （2）目黒区人口ビジョン素案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案について （3）その他 6 次回の日程について 7 閉会

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>(会議の結果)</p> <p>1 開会</p> <p>2 区長あいさつ</p> <p>3 委員・区側出席者紹介</p> <p>事務局： 本日出席者 15 名、欠席者 3 名</p> <p>4 座長、副座長指名</p> <p>事務局： 当懇話会については、資料 1 「目黒区まち・ひと・しごと創生懇話会設置要綱」に基づき、設置・運営させていただく。また、要綱第 5 条 2 項により、座長に中井委員、副座長に中野委員を指名したことを報告させていただく。</p> <p>5 議題</p> <p>(1) 「懇話会の運営について」</p> <p>事務局： 要綱 6 条 3 項で、本懇話会は原則公開とするが、座長が認める場合は非公開とすることができる。会議録は、要点筆記とし、発言者は「座長」、委員の方の発言の場合は「委員」という形で表記する。また、会議録については、次回の会議の時に各委員に確認いただき、公開する。傍聴者の取り扱いについては資料 3 に準ずる。</p> <p>座長： 事務局からの提案どおり、運営をさせていただく。(全員了承) 現在 5 名(最終的には 6 名)の方からの傍聴希望があるが、会場の許す限り傍聴は許可したい。(全員了承)</p> <p>(2) 目黒区人口ビジョン素案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案について</p> <p>事務局： 議題の「(2) 目黒区人口ビジョン素案、目黒区まち・ひと・しごと総合戦略素案について」、資料 4 及び資料 5 により説明。</p> <p>委員： まず、希望出生数 1.50 の算出式だが、郵送調査は、きちんと無作為抽出を</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>やっているが、600 票しか返っておらず、未婚者層になると 100 票しかない。この 100 票で、この統計を作るのは、基本的には誤差が大きすぎる。次のインターネット調査は、どういうサンプルなのか全く分からない。同じ調査であるにもかかわらず、22 ページにあるように「結婚するつもりはない」というのが 10%と 20%で、これは普通、同じ母集団を対象として調査をしたら起きない現象である。30%しか回収率がないのであれば、もっと配布数を増やすしかない。そもそも 1.50 という数値を挙げることについての是非の議論があるが、それ以前に、この 1.50 は統計的に信頼に足る数字とは思えない。そもそも回答者の 6 割が女性という調査の数値を区民の独身層を代表する調査として用いることなど統計調査の常識に反している。</p> <p>事務局：</p> <p>郵送調査については、人口比で、男女比を含めて抽出している。しかし、郵送調査の場合、回収率は大体 30%で、統計学的にどうかということは認識している。ただし、国のほうで掲げている希望出生数は 1 億人を維持していくためとなっている。目黒区の出生率は実態がおよそ 1.0 のため、その 1.5 倍程度を希望と捉え、それを達成するための取組を進める意味で設定した数字となっている。インターネットのほうは、ご指摘のとおり、登録者数が無作為抽出の比率と異なるため、2つを分けて結果を出している。</p> <p>委員：</p> <p>人口ビジョン素案の 23 ページの数式は意味がないということか。算出してきたのではなくて、目標として 1 億人から逆算して出したということか。統計的に信頼できない目標を出すというのは、行政としてはやはりおかしいのではないか。</p> <p>事務局：</p> <p>インターネット調査については、年齢とか階層別にサンプリングしていないため、こういう計算式を使うことについて疑問は感じている。しかし、今回の目標値の設定としては、国は 1.8 を設定している中で、目黒区が現状 1.0 から 1.5 倍で設定したらどうかということで人口ビジョンはまとめている。23 ページにある計算式は、国が希望出生率を算出する際に使用している式だが、ここに今回の調査の数値を当てはめると、1.50 という結果が出る。書き方については、ご意見を踏まえて検討したい。</p> <p>委員：</p> <p>人口政策において、そもそも合計特殊出生率を目標値にするというのは、ある種の批判を伴う政策である。現政権がそれを進めていて、だからやらないとしようがないというも分からなくはない。だが、その場合はその設定値は本当に産みたい人が産める社会という意味で、正確な希望数に合わなければいけ</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>ないはずである。しかしこの数式に入れるべき数値自体が、統計的に間違っている以上、1.50 という結果の数値も間違いである。</p> <p>目標を掲げること自体に疑問があるような問題について、根拠となる調査が統計的に意味をなさないものであることを認めながら、目標数値を掲げるといふことには二重の意味で強い疑問を感じる。この目標数値が区民の意識を反映するものになっておらず、統計的に根拠のないものである以上、専門家の立場からはこれをもって「基準を満たすもの」ということはできない。</p> <p>委員：</p> <p>数々の施策で非常に有効的なものも多いのではないかという印象を持ったが、施策が非常に多岐にわたりすぎているのではないかと思う。一時保育の充実のように、非常に身近な問題の解決につながっているものが、マンパワーの拡散により達成できないとなると、一つひとつが目立たないものになってしまい、もったいないと思う。</p> <p>委員：</p> <p>私は、認証保育所のNPO法人理事長として、経営に携わっている。日常的に保育所の経営をしているが、私どもの認証保育所で一番困っているのは、0～2歳児と3～5歳児の人数比について、0～2歳児を多くせよと目黒区から非常に厳しく指導される点である。もともと待機児童問題というのは、育休明けの壁があり、認証保育所が集中的に0～2歳児を引き受けるようになった。私どもの保育所は、2歳から抜けないで上がるのが比較的多いために、常に目黒区から厳しく指導を受ける。最近、認証の数や保育所の数が増えるに連れ、0～2歳児が増えて、今度は3歳児の待機児童が出るようになってきている。もはや認証保育所における0～2歳児の人数を3～5歳児よりも多くせよという指導は、待機児童対策として少し時代遅れになっているのではないかと保育の現場では感じている。</p> <p>座長：</p> <p>今出たような意見を、所管課のほうに、きちんと伝えていただけるという理解でよいか。本当は、所管課の人が出てこなくてはいけないのではないか。</p> <p>事務局：</p> <p>今日は素案の段階なので、出た意見は当然所管課のほうにも伝え、案をまとめる際の参考にさせていただく。</p> <p>座長：</p> <p>せっかく委員の皆さんが集まっているのだから、それぞれについて、政策企画課だけでなく、答えられる人がいないといけない。次回は、それを検討してほしい。</p> <p>委員：</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>目黒区の長期計画などと擦り合わせをしながら新しいものを出してきている。実現できるかはわからないが、作り上げなければしょうがないので、理想を描いて、向かっていくという姿勢を持つのは悪いことではない。</p> <p>委員：</p> <p>区の職員がいろいろな所へ行ったり、いろいろな人の声を聞いたりしたことが、どれだけ出てきているのか、住民の具体的な声が見えない。企業であればお客様の声を反映させることが重要である。この戦略は、あまりにも広範囲すぎて何をしたいか分からないので、地域の住民の声がどうなっているのか入れていただきたい。</p> <p>座長：</p> <p>これは、フォーマットみたいなものがある、どの自治体もこういうフォーマットで総合戦略を作っているのか。</p> <p>事務局：</p> <p>必ずしもこういった形でということではないが、他の自治体をみていくと、基本目標があって施策、事業というパターンが多い。</p> <p>座長：</p> <p>委員の指摘は、事業リストにしか見えないということだと思う。どこに課題があり、それにどう対応しているのかが分かるようになっていない。</p> <p>委員：</p> <p>「男性が家事・子育て・介護を積極的に担うための啓発」というところで、男性が料理教室や家事講座、育児教室に参加してくれるようにということが挙げられている。私たち男性がどう情報を得るのか。役所がどう情報を発信していくか、広報の仕方が問題になるのではないか。目黒区の施策が見えにくいので、住区センターなどでの広報活動をより積極的にすべきだと思う。</p> <p>委員：</p> <p>保育では子どもが入れない状況があると、女性団体の中では言ってきた。果たしてどこまでできるのかというのがすごく不安であり、より現実的なものにしたほうがよいと思う。</p> <p>事務局：</p> <p>保育については、区としてもさまざまな施策を展開しており、重点的に施策を打っていかねばならない課題と認識している。</p> <p>委員：</p> <p>保育の件だが、具体的にということであれば、ターゲットをつくるべきである。まだ区立の幼稚園はあるのか。あるとすれば、それは全部認定こども園化しているのか。区立の幼稚園を認定こども園化するというのは、1つの事業目標になるはず。</p>
-------------------------------	--

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>また、小学校で1クラスしかないところがあれば、そういうところを保育園にしていくしか都心ではできない。保育園というのは基本的に儲からない産業なので、公有地にしか建てられない。だからといって、小学校の校庭に作るわけにはいかないの、保育園を増やすというのは小学校の統廃合とセットになるはずである。保育所を、どこに、どのように作るのかということについて、やはり工程表をきちんと示していただきたい。</p> <p>委員：</p> <p>高齢者や障害者等を見守る地域福祉の担い手として、この懇話会に参加させていただいたと認識している。今後地域医療・地域介護が更に求められる状況の中で、この報告に記載されている様々な福祉施設の設定目標値は本当に素晴らしい。しかし、目黒区の狭い面積や余裕のない財政を考えると、これだけのものが今後5年間でどの程度実現可能か、あまりにも非現実的な数値に疑問を抱いてしまう。私たちもこれに参画できるようなプログラムを作っていたら、ぜひ一緒に行動したい。</p> <p>事務局：</p> <p>国公有地の活用に関して、旧第六中学校の跡地については、特別養護老人ホームと保育所の設置を進めている。また、統合により閉校した旧第四中学校については、懇話会を設置して用地や施設整備についてご意見をいただき、取り組んでいる。</p> <p>小学校の中の保育所については、上目黒小学校の中の特別教室を活用しようとしている。幼稚園については、5園あったが、2園廃園し、3園のうち2園を認定こども園化した。残り1園についても、方向性としては認定こども園化するという事で決まっている。</p> <p>座長：</p> <p>重要業績評価指標（KPI）について、どうやって目標設定を行っているのがよく分からない。妥当な目標値になっているかどうかというのが判断できないので、コメントのしようがない。</p> <p>また、目標設定をするのにどういうロードマップを作るのか、これは総合計画に近いので、総合計画との関係を示してほしい。</p> <p>事務局：</p> <p>総合戦略の策定をするにあたって、目黒区においては基本計画があり、それを具体化した実施計画がある。これは27年度からの計画となっており、保育所の整備などを含めた「子ども総合計画」ほか、多くの計画を昨年度改定した。今回については、この総合戦略の設定期間がちょうど基本計画と同じとなっているため、基本計画の目標を総合戦略の目標として設定している。個別の計画全てをこの戦略の中に書き込むというわけにはいかないが、他の計画の地方創</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>生に関連する事業プラスアルファの事業を載せている。K P Iについても、基本的には、各補助計画の目標値を掲げている。</p> <p>委員： この懇話会で、何かの結論を出したらどういう結果が生まれるのかが、まず、分からない。例えば、ここの全員が、こういう施策はこうすべきだと意見が一致したら、区議会なり区役所として、最善を尽くしてその方向性に持っていくためにこの懇話会があるのか。</p> <p>事務局： 区として全庁的な検討を加えた上で、今回、素案をまとめている。懇話会で決まったことを必ず実行するかどうかは、十分ご意見を踏まえて検討する必要があるが、基本的には、今日の意見やパブリックコメントなどを踏まえ、反映すべきものは反映していく。ただ、拘束力というような話になると、最終的には、多くの政策と同様に区が責任を持って決めることになる。</p> <p>委員： 数値目標と事業、アウトカムの評価指標の連鎖がうまくとれていないと思う。また、長期総合計画との整合性やその連鎖を、論理的に説明をしていく工夫が必要ではないか。予算に限りもあろうから、達成できそうもない状況など、大ざっぱに事業を組み立てていく中の説明をしていくと、各委員が疑問を持っているものを、少し説明する形になる。</p> <p>委員： 目黒区は東京都の中では企業数が圧倒的に少ない。みんな目黒に住んでいるのだけれど、子どもが生まれると、目黒にいなくなってしまう。人口の増加以外でも、区のにぎわいをどうのこうのと言うけれど、住宅が8割以上を占めている目黒区において、どういう形で産業やにぎわいができていくのか。</p> <p>委員： 全体的にコメントするのは、非常に難しい。専門委員とか専門部会を設け、現場の声を吸い上げて、それを案に盛り込んでいけばといいのではないか。保育園とか、先ほどの中学校の統廃合のこと、小学校の統廃合のことなどが一番の重点項目に挙がってくるのではないのか。</p> <p>委員： 資料をいろいろ見たが、ちょっとつかみどころがない。 先ほどの新規事業の中で、「保育所に通所中の児童等で、病気の回復期にあるために保育所等で集団保育が困難な児童を、専門の施設で一時的に預かる」というような項目があるが、そういう施設に、医師や医学にたけている方を今後配置するのか。私たち工業界としても、どう手伝えばいいのか、区からの指摘をいただきたい。</p>
-------------------------------	---

<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>事務局：</p> <p>通常の保育園では、看護師の配置があるが、医師の配置はない。病後児保育は、医療的な対応ができる施設を言っており、専門の方が配置されているからこそ、病後児保育ができる。ただ、まだまだ不足しているため、今後増やしていく必要がある。</p> <p>委員：</p> <p>目黒の特徴として、30 前後の独身の方がたくさんいる。30 代の独身を何とか、絆というか、束ねないと、もったいないのではないか。経済的にも、私は商店街の人間だが、渋谷のデパ地下で買い物をして帰られるよりは、地場の商店街で買い物をしてほしい。目黒から出て行っても、自分の子どもたちが例えば神奈川に行って、次世代をつくって、その次世代が育った時に、親が、「おれが就職した時に、目黒で住んでよかったぞ」と言ってもらえる目黒になっていけばいい。</p> <p>委員：</p> <p>区内の神社の中には、なかなかみこしの担ぎ手がないというのが悩みとなっている。地域住民の方との関係性がない。</p> <p>その一方でいろいろと、目黒区の中での住居構成も空き家が増えてきており、そういうものをどうにかしなければいけない。若者が目黒区に入ってきて、そこに祭りの担ぎ手などにアクセスできるようにし、地域と結び付きを持てれば、就職して、マイホームを建てる時に、目黒区も選択肢となり、また戻ってくるのではないか、</p> <p>委員：</p> <p>私は、メディアとしての立ち位置で委員として入らせていただいている。区民の方に今回の件を分かりやすくお伝えするという事で、経緯も含めて聞きたいと思っていた。やはり数値目標とKPI、施策の部分で分かりづらい。イラスト等で区民の方一人一人が想像できるような形でまとまればいいのではないか。</p> <p>委員：</p> <p>私も行政の立場ということで、ハローワークとしてどんな協力ができるのかなという視点で読ませていただいた。マザーズハローワークで、子育て中の母親の意見を聞いたが、待機児童の解消というのがこの2年前くらいから大きく言われるようになった。ただ、保育士不足の問題も現実的にはある。福祉の関係では、介護士の不足もしている。ハローワークとしては、そういった人材を何とか手当てしていきたい。</p> <p>委員：</p> <p>要綱第2条の中で、「懇話会においては、委員から目黒区まち・ひと・しごと</p>
-------------------------------	--



<p>会議の結果 及び 主要な発言</p>	<p>と総合戦略及び目黒区人口ビジョン策定に関する意見を聴取するものとする」とあるが、答申だとか、そういう意見をまとめるとかそういう形はないのか。</p> <p>また、長期計画だけではなくて、財政計画、いろいろなものがみんな絡んできた中で新規事業を入れており、これは悪いことではない。任期が3月末までなので、答申するとか、結論を出すとか、そういうことではないということだけ確認したい。</p> <p>事務局： 答申をいただくとか、意見書をまとめていただくとかということではなく、本日のようにたくさんの意見をいただきたい。</p> <p>座長： 今日出た意見については、どのような扱いになるのか。</p> <p>事務局： 議事録は確認いただいた上で、公表する。更に意見がある場合は、事務局にいただきたい。</p> <p>6 次回の日程について</p> <p>事務局： 次回日程は2月5日金曜日、18時半。詳細日程等、後日連絡する。</p> <p>7 閉会</p>
-------------------------------	--